

2023年度



専門分野, カ試し

日本放射線技術学会 中部支部CT研究会(東海ブロック)

CT関連論文の抄読会

2024年1月18日(木)18時30分～

開催方法：Webセミナー

参加費：会員500円, 非会員1000円

申込方法：RacNeより中部支部で検索

申込締切：1月17日(水)まで

CT認定技師
単位あります

研究を進めるためには、過去の研究、他者の研究について知ることが重要です。特に、海外の論文を読むこと、慣れることは、これから研究を進めていく皆さんには重要なことでしょう。海外論文の中からCTに関する興味ある論文について抄読します。これから研究をしたい、研究テーマを見つけない、研究を進めているが海外の研究状況を知りたい等々、いろいろな活用法があると思います。若手会員の参加を強く勧めます。論文はむづかしいものと考えずに気楽な気持ちでご参加ください。



参加者の声

“抄読会”ってなに？って思いながら初心者として参加しましたが、講師の先生のわかりやすい論文解説で、論文や研究のいろはや最新情報を学ぶことができました。大学の研究室の雰囲気を味わえてとても楽しかったです。

コメンテータ：中部CT研究会世話人

18:30～18:45 SPECIAL LECTURE I
「RSNA2023 ハイライト」

公立陶生病院 秋山 宣行

18:45～19:10 SPECIAL LECTURE II
「論文の読み方」

担当：国立がん研究センター中央病院 瓜倉 厚志

19:10～19:30 論文抄読

Menon, Bijoy K., et al. “Multiphase CT angiography: a new tool for the imaging triage of patients with acute ischemic stroke.” Radiology 275.2 (2015): 510-520.

担当：藤田医科大学病院 黒瀬 朋幸

休憩 ☕

19:40～20:20

あの職場の勉強会に潜入！

「名市大病院CT室の抄読会」

様々な施設で行われている職場内勉強会をのぞいてみる企画です。

Technical Basics and Clinical Benefits of Photon-Counting CT Thomas Flohr, PhD and Bernhard Schmidt, PhD Invest Radiol. 2023 Jul; 58(7): 441-450.

宮川 功樹

CT Angiography of the Aorta Using Photon-counting Detector CT with Reduced Contrast Media Volume Kai Higashigaito Radiol Cardiothorac Imaging. 2023 Jan 26;5(1):e220140.

富島 しぶき

20:20～20:30

「総合討論」

全登壇者および全世話人

RacNeから申し込み→

